

嚴寒期鉄道貨物輸送緊急事態に対する
應急措置についての参考資料

- 一 鉄道貨物輸送の現状
 - 二 機関車保守の現状
 - 三 新。仙。札。鉄道局管内主要労働職欠員状況
 - 四 主要労働職地域別平均月収及び作業手当調
 - 五 食糧増配所要調
 - 六 作業用物資所要調
 - 七 車両修繕用資材所要調
- 私鉄関係
- 八 食糧増配所要調
 - 九 作業用物資所要調
 - 十 車両修繕用資材所要調

裏面白紙

鐵道貨物輸送の現状

一、概況

本年度鐵道貨物輸送は三月四月「救國貨物大増送運」を實施し月間九〇〇万屯の輸送体制が整備せられて以來比較的好調に推移した。即ち

	計	實	割合
	千屯	千屯	
第一四半期	二八、一六七、一	二八、三四六、一	一〇一%
第二四	二九、六七二、三	二七、八二〇、六	九四
十月	一〇、一一五、三	九、八七二、三	九八
十一月	一〇、三五八、三	九、四〇八、三	九一%
十二月	一〇、二二八、五	八、八九八、八	八七
		八、九三五、三	十二月分(推定)

であり、十月の如きは終戦以來の最高記録を示している。然し乍ら十一月以降此の輸送力も停頓状態にあり特に十二月に人つてからは北海道青森地区の猛吹雪と労働事情或は特殊輸送の爲に輸送力は左の如く極度に低下している。

一方輸送要請は月一、五〇〇万屯をこえ、日々の驛頭在貨は三〇〇万屯に達する現状である。更に今般の石炭非常増産により北海道、九州に於ける煤炭の貨積最上は特に顯著なものがあつて、輸送力之に伴はずに輸送力逼迫感は深刻なるものがある。

二、重要物資輸送概況

主食、薪炭、肥料、石炭、木材等の重要物資の輸送概況は別表の通りであるが、此等の重要物資すら満足に輸送されていない現状である。

(一) 石炭

今次石炭の緊急増産により第四四半期出炭高としては八、二七五、〇〇〇屯を記録されて居り、之に基づき輸送量としては七、六一三、〇〇〇屯でこれは第三四半期に比すれば約五%の前年同期に比すれば實に三〇%の増加であり、かゝる大量物資が大幅に増加した關係上其の他重要物資は可成りの輸送抑制を餘儀なくされている。

(二) 北海道産

増産運動以前に於いては一日約二万屯程度の出炭であつたも

のが運物實態以來急激に増産となり十二月は一日平均二五、四九九屯となつてゐる。これに對し鐵道運送の實績は(一)雪害に依る列車運轉の不圓滑、(二)生話難、作業用物資不足に基因する労働事情、(三)機關車故障等の爲一日平均一六、〇七〇屯で可成りの懸隔を示してゐる。之が爲山元貯炭は十二月一日九五、九六八屯であつたものが一月十日現在では二三五、九九九屯となつてゐる。

ロ、九州炭

(二) 十二月鐵道運送計畫は三二、六三二屯に對し實績三三、三八五屯である。一月に入つてからは正月積込作業が不圓滑を爲五日迄は若干低下し一日平均二一、八七一屯であるが八日の如きは三九、三七三と増加し増産に應へてゐる。

(一) 米、麥等の主食、野菜、魚介等の副食物等については北陸、東北、地區の米運送に若干の問題があり、北海道の鮮魚運送は青函の輸送事情の爲殆んど十二月以後は停止の状況である。

薪炭輸送については特に大都市向けを優先に實施して居り仙臺地區に於いては薪炭専用列車を設定してこれが確保をはかつてが古關木地區特殊輸送の影響を受けて其の實績は必ずしも充分ではなかつた。

(四) 木材

木材の計畫對實は他物資に比し甚悪くはないが之は計畫が要請に對し毎月略五〇%程度に抑制しある事と木材の中相當量が進駐關係貨物である事を考へると一般需要は極端に抑制されてゐる事は容易に想像し得る。特に北海道に於ては坑木、バルブ材等緊急用途のものさへ危殆に瀕してゐる状況である。其の他硫化礦、亜炭、セメント等をとつても仙臺地區は極度に抑制を受けてをり、北海道地區に於いては石炭、主食、進駐軍關係以外の物資は計量的に規制せられてゐる現狀である。以上の如く輸送力の全体が次第に悪化の傾向をたどりつゝあるが、特に北海道、東北地區に於いては諸種の事情が錯雜して輸送難の現狀を深刻ならしめてゐる。

三、第四四半期輸送計畫

第四四半期の輸送要請は電力事情等の爲一部工業生産品が減少してゐるもの、緊急増産の成果たる石炭、出貨最盛期に入つた米を始めとして依然熾烈なるものがある。即ち一月一、五〇九万吨、二月一、四〇〇万吨、三月一、五〇一万吨、合計四、四一一万吨を算してゐるが、鐵道輸送力は根本的には戦時以來の酷使による車庫並に其の他の輸送施設の荒廢によるの外、最近の労働事情等を反映して輸送力の現状維持すら困難な状態にある。本期輸送計畫として一月九一八万吨、二月八五九万吨、三月九七八万吨、合計二、七五五万吨と想定したがこれは要請に對して六三%の割合で輸送抑制の度合は前期より一段と深刻となつてゐる。然も本計畫の實施さえ輸送力の現状を以てしては困難であり、輸送面から經濟危機に拍車をかける事か優へられる。之を輸送力の強化に對し緊急対策を樹立し之を強力に推進する必要がある。所以に對する所要の資材及物資の確保によつてこれが完遂をはかり度い。

昭和二十三年度雪害地帯輸送実績

(単位千匹)

四半 期別	種別	全 局			札 局			仙 局			新 局		
		計画	実績	割合	計画	実績	割合	計画	実績	割合	計画	実績	割合
第一	四半期	281676	283461	101	38530	37536	97	21605	19760	91	24388	22945	94
第二	四半期	296723	273276	92	42355	41395	98	22583	17001	75	25382	22384	88
第三 四半 期	10月	101153	88723	88	17332	16561	96	6247	5785	93	7558	7429	98
	11月	103587	94083	91	16773	13798	82	7677	5533	72	8616	7685	89
	12月	102285	88789	87	14272	9419	66	7292	4813	66	8695	5300	61
	計	307025	221794	72	48377	38778	80	21316	16131	76	24869	20414	82

備考 *印は推定を示す

裏面白紙

昭和二十二年

重要物資輸送概況 (單位千吨)

期月別 種別 品別	第一四半期			第二四半期			10月			11月			12月			第三四半期		
	計画	実績	割合	計画	実績	割合	計画	実績	割合	計画	実績	割合	計画	実績	割合	計画	実績	割合
米	526.5	6070	115	1641	2038	124	2418	2147	89	3243	3630	109	4227	4597	107	9870	10189	103
小麦粉	137.1	2156	157	338.7	1820	54	4224	4253	101	4477	5132	115	1374	1812	130	1069.5	1119.7	111
大豆類	111.5	1191	107	146.2	1495	102	115.3	966	84	1138	858	75	907	565	62	319.5	238.9	75
豆類	454.0	3464	76	373.3	1375	37	85.3	773	91	938	1499	128	126.0	724	57	305.1	294.6	97
木炭	349.2	2802	80	270.2	2043	75	106.1	95.1	90	112.4	903	80	1827	743	41	4014	277.7	70
薪	482.0	7134	105	6744	5726	85	23.7	256.0	99	269.2	212.2	82	2570	208.0	81	755.9	656.2	87
木材	3681.2	4118.5	112	4671.1	3597.1	77	12434	1220.7	98	1390.3	1056.4	76	1315.5	1011.2	77	3899.2	3288.5	84
肥料	716.0	7076	99	718.7	6176	86	239.0	224.1	94	244.0	214.5	88	251.0	174.5	70	734.0	613.1	84
石灰	6265.8	6065.2	97	6408.7	6192.1	97	2401.2	2282.3	95	2385.7	2312.7	97	2438.9	2458.9	101	9225.8	7053.9	76
亜灰	451.2	4348	96	536.7	3945	73	1674	1396	83	1805	1213	67	178.3	124.9	70	526.2	385.8	73
セメント	356.9	328.9	92	405.3	376.9	93	122.6	123.7	101	137.1	102.3	75	145.7	115.8	80	405.4	341.6	84
コークス	212.4	200.5	94	240.5	199.5	83	78.6	72.4	92	84.1	58.2	69	82.6	61.8	75	245.3	192.4	78
其他	28167.6	28346.1	101	27672.3	27697.7	99	10115.3	9872.3	98	10358.7	8700.3	84	10228.5	8898.8	87	30702.5	28179.4	92

裏面白紙

機関車保守の現状
一、機関車可動率趨勢（省平均）

月	日	総面数	使用可能面数	可動率(%)
四	一	五九三六	四三〇三	七二、五
五	一	五八七七	四三九二	七四、六
六	一	五八八五	四四〇七	七四、八
七	一	五八九二	四五一一	七六、六
八	一	五九〇四	四五一一	七五、五
九	一	五九一二	四五八八	七五、五
一〇	一	五九二五	四五七	七五、九
一一	一	五九三〇	四五二二	七六、二
一二	一	五九二八	四五三六	七四、九

二、機関車可動率趨勢（札、仙、新鉄）

月	日	札		仙		新鉄	
		総面数	可動面数	総面数	可動面数	総面数	可動面数
四	一	六九九	四六八	六一三	四六七	五五〇	四二三
五	一	六八九	四七三	六〇九	四六九	五三九	四二一
六	一	六九四	四八五	六一〇	四七〇	五三九	四二五
七	一	七〇六	四八九	六一三	四九三	五四四	四二九
八	一	七〇八	四九三	六一五	四八三	五四五	四二九
九	一	七〇九	四九三	六一五	四八五	五四五	四四六
一〇	一	七二二	五〇〇	六一五	四七四	五四五	四五〇
一一	一	七二二	四七一	六一五	四四九	五四五	四二八
一二	一	七二二	四四二	六一五	四五〇	五四五	四〇九

		可動率%	
札	可動率%	六六八	六六九
仙	可動率%	六八七	六八七
新鉄	可動率%	七六一	七七〇
札	可動率%	七七一	七七〇
仙	可動率%	七八六	七八六
新鉄	可動率%	七八八	七八八
札	可動率%	七八八	七八八
仙	可動率%	七八八	七八八
新鉄	可動率%	七八八	七八八
札	可動率%	七八八	七八八
仙	可動率%	七八八	七八八
新鉄	可動率%	七八八	七八八

新瀧、仙臺、札幌各鐵道局の連結手、荷扱手、庫内手、機關區技工及線路工手の缺員狀況（昭和二十二年十月末現在） 職員局

線路工手			機關區技工			庫内手			荷扱手			連結手			
缺員割合	缺員	定員	缺員割合	缺員	定員	缺員割合	缺員	定員	缺員割合	缺員	定員	缺員割合	缺員	定員	
100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新瀧
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	仙臺
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	札幌
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

裏面白紙

主要職 地域別平均月收調

鉄道総局職員局給表

連結手 平均年齢 17.9才 平均家族数 0.04人

	基本給	家族手当	勤務地手当	臨時手当	計	作業手当	
特 地	923 ^円	6 ^円	278 ^円	151 ^円	1,359 ^円	一般地区	特殊地区
甲 地			186	139	1,254	12 ^円	甲 480 ^円
乙 地			92	28	1,149		乙 272
丙 地			—	116	1,045		丙 136

荷扱手 平均年齢 31.0才 平均家族数 2.2人

	基本給	家族手当	勤務地手当	臨時手当	計	作業手当	
特 地	1,056 ^円	330 ^円	416 ^円	225 ^円	2,027 ^円	一般地区	特殊地区
甲 地			277	208	1,871	12 ^円	甲 480 ^円
乙 地			139	191	1,716		乙 272
丙 地			—	173	1,559		丙 136

線路手 平均年齢 25.6才 平均家族数 0.4人

	基本給	家族手当	勤務地手当	臨時手当	計	作業手当	
特 地	1,058 ^円	60 ^円	335	182	1,454 ^円	特殊地区	特 504 ^円
甲 地			224	168	1,510		甲 368 ^円
乙 地			111	154	1,383		乙 224
丙 地			—	140	1,258		丙 136

機関区技工 平均年齢 25.9才 平均家族数 0.4人

	基本給	家族手当	勤務地手当	臨時手当	計	作業手当	
特 地	1,112 ^円	60 ^円	352 ^円	190	1,714 ^円	現行	改正案
甲 地			234	176	1,582	77 ^円	204^円
乙 地			117	161	1,450		
丙 地			—	147	1,319		

庫内手 平均年齢 17.2才 平均家族数 0.04人

	基本給	家族手当	勤務地手当	臨時手当	計	作業手当	
特 地	816 ^円	6 ^円	247 ^円	134 ^円	1,203	—	—
甲 地			164	123	1,109		
乙 地			82	113	1,017		
丙 地			—	103	925		

- 註
1. 基本給は本給+暫定加給+暫定加給臨時増給
 2. 作業手当の地区区分は臨時勤務地手当の地区区分に準じ、作業量、作業条件等、地域を指定されている。
 3. 作業手当に対する実施日数は一月24日以下。

裏面白紙

優待輸送力増強のため関係従事員に配給する食糧は、
(鉄 職 庫)

1. 全国地域

労働加配米

超労働者人負

三八七、〇〇〇人

現在一人一日平均二〇合

(超労働者)

一五八、八〇〇人

現在一人一日平均二〇合

超労働者に付して三三合

労働者に付して三〇合

労働者に付して三〇合を物配するに於て

現行との差を要する

一四四、七〇〇石

(註) 炭鉱坑外大口三五合である

味利

現在定期内配給に於ては、
一人一月間五五合に付して、
一九三、三〇〇石

月間計受量

去

現在定期内配給に於ては、
一人一月間二封を要するに
三、八六〇、〇〇〇封を要する

月間計受量

三、八六〇、〇〇〇封

現在定期内配給に於ては、
一人一月間二封を要するに
三、八六〇、〇〇〇封を要する

(三) 寒冷地域

(全国地域の中、此は五人である)

労働加配米

超労働者人負

一三九、九三〇人

(超労働者)

八一、二〇〇人

現在一人一日平均二〇合

超労働者に付して三三合

労働者に付して三〇合

労働者に付して三〇合を物配するに於て

味利

月間計受量

七、〇一石

去

月間計受量

一三九、九三〇封

現在定期内配給に於ては、
一人一月間二封を要するに
一三九、九三〇封を要する

1. 全国地域
 輸送力増強用物資所要量調

局別	配給対象人員	米		
		日 (15合)	月 (5合)	計 (15合)
東京	77,700	2,990	399	77,700
名古屋	48,000	1,300	240	48,000
大阪	52,000	1,950	260	52,000
広島	33,400	1,255	167	33,400
四国	10,000	375	50	10,000
門司	46,500	1,724	233	46,500
新潟	36,400	1,365	182	36,400
仙台	35,900	1,326	180	35,900
札幌	44,100	1,654	221	44,100
計	386,000	14,477	1,932	386,000

2. 寒冷地域
 輸送力増強用物資所要量調 23.1.10
 鐵研字

局別	配給対象人員	米		
		日 (15合)	月 (5合)	計 (15合)
東京	2,390	90	12	2,390
名古屋	19,200	720	96	19,200
大阪	10,400	390	52	10,400
広島	2,340	88	12	2,340
新潟	36,400	1,365	182	36,400
仙台	25,100	941	126	25,100
札幌	44,100	1,654	221	44,100
計	139,730	5,248	701	139,730

品名	一般従事員用	差引増配用	計	平時及月末 差引増配用	差引増配用	要望量
軍手	一五八〇〇〇	二七九八六〇	一四三七八六〇	四五七〇〇〇	九八〇八六〇	九八〇八六〇
地下足袋	二四六九〇〇	三〇五五〇	二七七四五〇	一三〇〇〇〇	一四七四五〇	一四七四五〇
ボツコ靴	〇	一五二三〇	一五二三〇	六〇五〇	九八八五	九八八五
雨衣	〇	一五二三〇	一五二三〇	〇	一五二三〇	一五二三〇
石鹼	一九三〇〇〇〇	〇	一九三〇〇〇〇	六七〇四一九	一三五九五八一	一三五九五八一
軍足	〇	一三九九〇〇	一三九九〇〇	一八八〇〇	一三一〇〇	一三一〇〇
仕業服	〇	一三九九〇〇	一三九九〇〇	〇	一三九九〇〇	一三九九〇〇
シヤツ	〇	一三九九〇〇	一三九九〇〇	〇	一三九九〇〇	一三九九〇〇
裾直用毛布	二〇〇〇〇	〇	二〇〇〇〇	〇	二〇〇〇〇	二〇〇〇〇

嚴寒期鐵道貨物輸送緊急措置に要する作業用物資一覽表
鐵道總局

裏面白紙

寒冷地域輸送力増強用物
資所要量調

鉄道局別	配給対象人員	米 目(2合)	甘味劑 目(5元)	缶詰 目(1封度)
札幌	2,633	5,266	13,165	2,633
仙台	1,383	2,766	6,915	1,383
新潟	2,255	4,510	11,275	2,255
東京	306	612	1,530	306
名古屋	3,781	7,562	18,905	3,781
大阪	396	792	1,980	396
計	10,754人	21,508石	53,770缶	10,754封度

現在定期的特配を受けて居らない
又当月間一封度として要求する
月間所要量 一〇、七五四封度

三、缶詰

月間所要量 五三、七七〇

二、甘味劑

現在定期的特配を受けて居らない
又当月間五元として要求する

超重労働者に計して三五合、重労働者に計して三〇合を
特配するため現行との差を要求する
月間所要量 五三、七七〇

一、労働加配米

重労働者人員 一〇、七五四人

超重労働者

六、四五二 現行人当り一、五合

重労働者

四、三〇二 一〇合

地方鉄道軌道寒冷地域輸送力増強のため関係従事員
に配給する食糧について
(陸監業)
三三、三三

裏面白紙

品名	数量	単価	合計
軍手	二四七〇〇	二二一四七	一三五八四七
地下足袋	三九〇〇	七〇四九	四三九四九
木ツエ靴	〇	三五四四	三五四四
雨衣	〇	三五四四	三五四四
石 躑	一七四、五〇〇	〇	一七四、五〇〇
軍 足	〇	七〇四九	七〇四九
仕業服	〇	七〇四九	七〇四九
シヤツ	〇	七〇四九	七〇四九
宿直用毛布	四一〇、三一一	〇	四一〇、三一一
合計			一、三三九、四七〇

嚴寒期鉄道貨物輸送緊急措置要領作業用物資一覽表
陸運監理局

1. 本表は上記各品類の計量単位は、
2. 木ツエ靴、雨衣は二人一着共用として算出せり。
3. 毛布は敵役人員は三枚一床とす。

裏面白紙

裏面白紙

既定期に於ける鉄道貨物輸送の緊急事態
に対する緊急措置に要する経費

鉄道総局総務局
二三一一一四

一 車輛整備運動設備のための褒賞金	一八〇〇〇〇〇〇〇円
二 札幌鐵道國庫特別修繕実施のための褒賞金	一〇〇〇〇〇〇〇円
三 仙臺鐵道國庫修繕の部外発註	七〇〇〇〇〇〇円
四 札幌、仙臺車輛修繕用部品の寄附	三三三三〇〇〇〇円
五 作業用物資の特配	一一三三三三〇〇〇〇円
六 雪害作業手当支給	一九九七〇〇〇〇〇〇円

合計

三七五七〇三〇〇〇〇円